

みずほマーケット・トピック(2025 年 10 月 24 日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

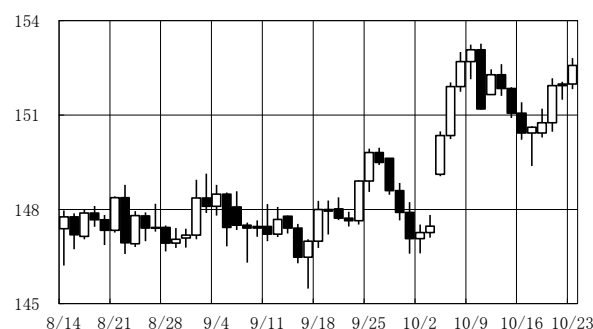
※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

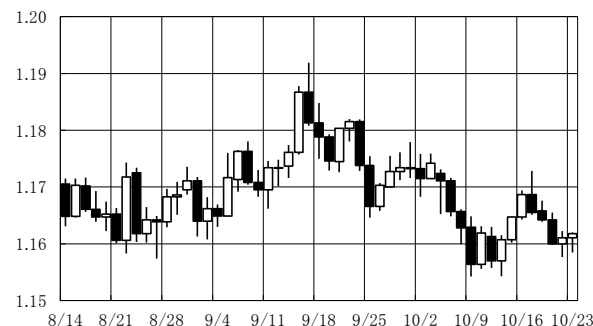
- 今週のドル/円は、断続的に水準を切り上げた。週初20日、150.92円でオープンしたドル/円は151円台前半へ小幅高も、その後高田日銀審議委員によるタカ派な発言などが重しになり150円台半ばへ反落。海外時間は、日銀関連の観測報道を受けて瞬間的に一時週安値となる150.27円へ下押す場面がみられるも、総じて材料に欠ける中で150円台後半を中心としたレンジ推移に終始した。21日、ドル/円は本邦首班指名選挙を通過する中で円売り基調となり、151円台後半に上昇。海外時間は、円売り相場が続く中で米株上昇なども支えとなり、152円台に乗せるなど続伸した。22日、ドル/円は日本株の値動きを横目に、151円台後半で小動き。海外時間は、材料難のなかで151円台後半でのレンジ推移が続いた。23日、ドル/円は高市新政権下での財政拡張懸念が円売りを誘い、152円台半ばへ上昇。海外時間は米国による対ロ制裁強化を受けた原油価格急騰や米金利上昇などが支援材料となり、一時週高値となる152.79円まで続伸した。本日のドル/円は、引き続き152円台半ばで取引されている。
- 今週のユーロ/ドルは週半ばにかけてじりじりと値を下げたあと、下げ止まる展開となった。週初20日、1.1661でオープンしたユーロ/ドルは材料に欠ける展開の中、1.16台前半へじり安推移した。21日、ユーロ/ドルはドル高地合いや独金利低下などが嫌気され、1.16を割り込んだ。22日、ユーロ/ドルは米金利上昇が重しとなって一時週安値となる1.1577まで反落後、米国による対中制裁に関する報道を背景としたドル安が支援材料となり1.16台前半に値を戻した。23日、ユーロ/ドルは新規材料に欠ける中、1.16ちょうどを挟んで方向感に欠ける値動きに終始した。本日のユーロ/ドルは、引き続き1.16台前半で取引されている。

		前週末	今 週				
		10/17(Fri)	10/20(Mon)	10/21(Tue)	10/22(Wed)	10/23(Thu)	
ドル/円	東京9:00	150.14	150.92	150.83	151.88	151.99	
	High	150.64	151.20	152.18	152.05	152.79	
	Low	149.38	150.27	150.47	151.49	151.83	
	NY 17:00	150.59	150.77	151.94	151.96	152.59	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1699	1.1661	1.1644	1.1600	1.1607	
	High	1.1728	1.1675	1.1656	1.1622	1.1620	
	Low	1.1650	1.1639	1.1598	1.1577	1.1586	
	NY 17:00	1.1653	1.1642	1.1600	1.1611	1.1619	
ユーロ/円	東京9:00	175.62	176.01	175.45	176.16	176.42	
	High	175.95	176.36	176.59	176.42	177.44	
	Low	174.85	175.26	175.39	175.79	176.42	
	NY 17:00	175.53	175.51	176.19	176.42	177.20	
日経平均株価		47,582.15	49,185.50	49,316.06	49,307.79	48,641.61	
TOPIX		3,170.44	3,248.45	3,249.50	3,266.43	3,253.78	
NYダウ工業株30種平均		46,190.61	46,706.58	46,924.74	46,590.41	46,734.61	
NASDAQ		22,679.97	22,990.54	22,953.67	22,740.40	22,941.80	
日本10年債		1.62%	1.67%	1.65%	1.65%	1.66%	
米国10年債		4.01%	3.98%	3.96%	3.95%	4.00%	
原油価格(WTI)		57.15	57.02	57.24	58.50	61.79	
金(NY)		4,213.30	4,359.40	4,109.10	4,065.40	4,145.60	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、28日(火)～29日(水)にFOMCが開催される。9月会合は、2025年に入って初めて利下げを決定した。利下げ幅は▲25bpだ。決定は賛成多数で、ミラン新FRB理事が▲50bp利下げを主張した。足許にかけては米政府閉鎖に伴って重要な経済指標が確認できない状態も続くが、民間統計などを確認する限り、経済情勢は会合間で大きな変化は確認されない。FRB高官による発言を聞く限りでも、同様の認識だろう。加えて、会合に先立ち公表されたページブックでは、殆どの地区で人員削減が進んでいる旨が示されるなど、労働市場の下振れリスクに対する警戒感が鮮明に滲んでいた。
- 本邦では、29日(水)～30日(木)に日銀金融政策決定会合が開催される。9月会合では政策金利の据え置きが続いた。しかし、ETF等の処分に関する決定がなされたことはサプライズとなった。加えて、高田委員と田村委員は+25bpの利上げを主張した。しかしながら、注目を集めた植田日銀総裁による会見に関しては、総じて利上げ再開に対し慎重であり、ハト派的であったとの評価が大勢だ。その後、田村委員や植田総裁の発言機会も足許にかけて用意されたが、スタンスに大きな変化は見られない。10月会合の政策決定が市場予想通りに現状維持だったとしても、利上げ提案が行われる可能性は高いとみるべきだろう。なお今回会合の記者会見では、政局に絡めた質疑が行われる可能性に留意したい。

	本 邦	海 外
10月24日(金)	9月消費者物価指数 ・10月製造業/非製造業PMI(速報) ・8月景気動向指数(確報)	・ユーロ圏10月製造業/非製造業PMI(速報) ・米9月消費者物価指数(*) ・米10月製造業/非製造業PMI(速報) ・米10月シシガン大学消費者マインド(確報)
27日(月)	・9月企業向けサービス価格指数	・独10月IFO企業景況感指数 ・米9月耐久財受注(速報、*)
28日(火)	—————	・ユーロ圏7～9月期妥結賃金 ・米10月コンファレンスボード消費者信頼感 ・米FOMC(29日まで)
29日(水)	・10月消費者態度指数 ・日銀金融政策決定会合(30日まで)	・米9月卸売在庫(速報、*) ・米パウエル議長会見
30日(木)	・日銀植田総裁会見	・ユーロ圏7～9月期GDP(速報) ・ユーロ圏9月失業率 ・ユーロ圏ECB政策理事会 ・米7～9月期GDP(速報、*)
31日(金)	・9月失業率/有効求人倍率 ・10月東京消費者物価指数 ・9月小売売上高 ・9月鉱工業生産(速報)	・ユーロ圏10月消費者物価指数(速報) ・米9月個人所得/支出(*) ・米9月個人消費支出デフレーター(*) ・米7～9月期雇用コスト指数(*)

(*)米政府閉鎖に伴い、米政府統計機関公表の各種経済指標は延期される可能性がある

【当面の主要行事日程(2025年10月～)】

FOMC(10月28～29日、12月9～10日、1月30～31日)
日銀金融政策決定会合(10月29～30日、12月18～19日、1月22～23日)
ECB政策理事会(10月30日、12月18日、2月5日)

国際為替部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/egon_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2025年10月23日	世界の為替市場の現在地～BIS調査を受けて～
2025年10月22日	高市政権発足をを受けて～粘着的なリフレ期待～
2025年10月20日	自民・維新連立政権～しぶとい円安・円金利上昇～
2025年10月17日	週末版
2025年10月16日	2025年、サービス赤字はまだ決壊せず
2025年10月15日	スピードアップするデカップリング～トランプ関税分析～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年9月分)
2025年10月14日	「貧すれば多党化」～欧州化する日本政治～
2025年10月10日	週末版
2025年10月9日	フランスリスクはユーロリスクに発展するか？
2025年10月8日	利上げを助ける高市トレード
2025年10月7日	史上最高値を更新したユーロ/円相場
2025年10月6日	高市政権誕生と今後の論点整理
2025年10月3日	週末版(外貨準備構成通貨の近況について(2025年6月末時点))
2025年10月2日	25年度上半期レビュー～主役の欧州通貨、悲惨な円～
2025年10月1日	いよいよ終焉を迎える「現預金50%」時代
2025年9月26日	週末版
2025年9月24日	ユーロの基軸通貨性を再考する～global euro～
2025年9月22日	日銀金融政策決定会合～10月利上げは堅いのか？～
2025年9月19日	週末版
2025年9月18日	FOMCを終えて～可視化される独立性毀損～
2025年9月17日	日銀金融政策決定会合レビュー～自動車、読めず～
2025年9月16日	日米財務大臣共同声明の読み方～2つの論点～
2025年9月12日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年8月分)
	週末版(ECB政策理事会を終えて～基本は現状維持、利上げの機を窺う～)
2025年9月11日	警戒すべき「貰い事故」～海外からの財政リスク相場～
2025年9月10日	円相場の需給環境について～頭打ちとなるヒト関連～
2025年9月9日	誰が首相になっても「変わらぬ3つの論点」
2025年9月8日	続・対米投資5500億ドル合意の現在地
2025年9月5日	週末版
2025年9月4日	遂に「利上げ再開」の兆しも出始めたECB
2025年9月3日	対米投資5500億ドル合意の現在地
2025年8月28日	週末版
2025年8月27日	円金利上昇の背景はどこに～円安終わらず～
2025年8月25日	ジャクソンホール経済シンポジウムの読み方
2025年8月22日	週末版(「ユーロ圏の「人手不足」はどうなったのか？～「需要不足」への問題意識は高止まり～)
2025年8月20日	4～6月期、「米国離れ」の真相～TICデータ～
2025年8月19日	上半期の円の需給環境について～改善傾向～
2025年8月18日	欧州の外交成果が垣間見えた米露首脳会談
2025年8月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年7月分)
	週末版(「家計部門の投資意欲」に腰折れ懸念～「海外→国内」のローテーションはあるか？～)
2025年8月14日	ニクソン・トランプ比較論～争点は「覇権国の管理コスト」～
2025年8月13日	ニクソン・トランプ比較論～恐れるべき結末～
2025年8月12日	過剰反応すべきではないFRB人事の影響
2025年8月8日	週末版
2025年8月5日	米EU交渉の評価～妥協か、英断か～
2025年8月4日	遂に現れた関税の影響～雇用統計の読み方～
2025年8月1日	週末版(日銀会合を終えて～霧は完全に晴れずも10月利上げが視野に～)
2025年7月31日	FOMCを終えて～年末以降、非常に厄介な状況に～
2025年7月29日	「米国離れ」の検証～5月は過去最大の資本流入～
2025年7月28日	対米投資利益の解釈～「90%取られる」の意味～
2025年7月25日	週末版(ECB政策理事会を終えて～6月から状況変わらず～)
2025年7月23日	日米関税交渉の合意について～日銀への影響あり～
2025年7月22日	参院選を終えて～現状と展望の整理～
2025年7月18日	週末版(日銀レビュー～「前門の国内政治、後門の米国政治」～)
2025年7月16日	日本版トラスショック再考～脆弱性は否めず～
2025年7月15日	日本版トラスショック再考～現実味を考える～
2025年7月14日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年6月分)
	日本政治の現状と展望～日本売りの材料になる政治～
2025年7月11日	週末版
2025年7月10日	追い詰められているのは米国も一緒～TACOの前提～
2025年7月9日	関税の緩衝材となる円安～日銀の判断は～
2025年7月8日	膠着する家計の投資意欲とその今後
2025年7月7日	物価高対策を巡る不可思議～王道は利上げ～
2025年7月4日	週末版
2025年7月3日	今、考えるユーロ/ドル相場の高値目途
2025年7月2日	インフレ適応が続く家計、諦観強まる若年世代
2025年7月1日	25年上期レビュー～「欧州の強さ」と「円の弱さ」～
2025年6月27日	週末版
2025年6月26日	NATO首脳会議～動き出した欧州の戦略的自律～
2025年6月25日	「米国離れ」は本当なのか～4月に起きていたこと～
2025年6月24日	衰えないスイスフラン～欧州資産へのローテーション～
2025年6月23日	目立ってきた日本の高インフレと中東リスクへの不安
2025年6月20日	週末版(FOMCを終えて～ドル/円相場への含意～)
2025年6月18日	貰けなかった「べき」論～優しさの代償は？～
2025年6月16日	中東事変とドル/円相場への影響～円売り優勢～
2025年6月13日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年5月分)
	週末版(変わるドル凋落相場の背景～米国主導ではなく他国主導に～)
2025年6月12日	日銀会合レビュー～「もう関与しない」を示す時～
2025年6月11日	円の基礎的需給環境について～暴落後の挙動～
2025年6月10日	新しい対内直投目標の読み方～「骨太の方針」～
2025年6月9日	為替政策報告書を受けて～年金運用への注文？～
2025年6月6日	週末版(ECB政策理事会を終えて～利下げ局面の終わり？～)
2025年6月4日	ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方
2025年6月3日	ECB政策理事会レビュー～利下げは当然視できる？～
2025年6月2日	欧州再軍備と欧州版ハムルトン・モーメント
2025年5月29日	IEEPA違法判決はゲームチェンジャーになるか？
2025年5月28日	34年ぶりの首位陥落～24年末対外純資産について～
2025年5月26日	懸念通りの米EU交渉～日本との違い～
2025年5月23日	週末版(ユーロ相場の現状について～堅調に潜むリスク～)
2025年5月22日	円金利上昇と為替相場についての所感
2025年5月21日	赤澤ベッセント会談3.0～争点化する自動車～
2025年5月19日	米国価格下げの影響～急性的ではなく慢性的～